

上川地域における木質バイオマスの安定供給に向けた取組

上川北部森林管理署（上川中部森林管理署・上川南部森林管理署・空知森林管理署北空知支署）

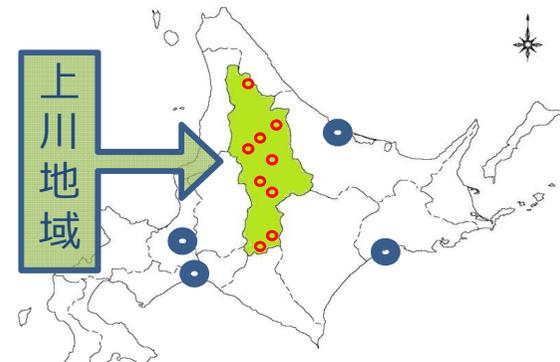
【目的】

近い将来には供給量不足が懸念されることから、「上川管内木質バイオマス安定供給協議会」の動向を踏まえつつ、木質バイオマスを安定的に供給するための仕組みづくりを目指した検討・取組を行う。

<北海道森林管理局>
上川北部森林管理署
上川中部森林管理署
上川南部森林管理署
空知森林管理署北空知支署



<上川総合振興局>
産業振興部林務課
南部森林室
北部森林室
木質バイオマス推進室



【平成27年度重点取組】

- 共通：局HPへの木質バイオマス発生情報掲載件数の増加
木質バイオマス資源の安定供給及び伐採搬出コスト削減のため立木販売団地の検討
- 上川北部署：伐採搬出現場における木質バイオマス原料の集荷方法の調査・検証を実施
- 上川中部署：民有林への列状間伐普及のため民国連携による「列状間伐現地研修会」を開催
- 上川南部署：雪氷乾燥システム・バイオマス対応型フォワーダの運用方法の検討
- 北空知支署：地域内の木質バイオマス需要動向の把握及び他地区の取組の情報提供 等

- 木質バイオマス大規模発電施設稼働予定
- 木質バイオマスエネルギー利用施設



上川北部森林管理署

【平成27年度の取組状況】

<各署共通取組事項>

- 木質バイオマス発生情報
13件掲載し9件販売。
- 立木販売団地の検討・実施
伐採計画の変更により、木質バイオマス資源向けを想定した団地として、間伐面積832haを予定。
(材積31,500m³)

●木質バイオマス原料の集荷方法の調査・検証結果

低コストで効率的に木質バイオマス原料を集荷するためには、それぞれの伐採搬出現場の作業システムに対応した集荷方法の確立が必須です。

<効率的な集荷が困難とされているフォワーダ集材（短幹集材）での調査結果>

- ・フォワーダに通常積み込まれる用材の上部に、これまで林地残材としていた一定の長さの末木を積込む。
 - ・集荷する末木に一定の長さを確保することで用材と同様に現状の機械での積み込み・トラック運搬が可能。
 - ・以上の集荷方法においては新たな機械の導入や作業システムの変更を要しない。
- これらは、今後さらに詳細な作業工程や生産性への影響についての検証を進めます。

●森林施業の低コスト化による木質バイオマスの安定供給への取り組み

木質バイオマス資源の安定供給を図るには、「伐採・造林の一貫作業」「幅状間伐」等との組み合わせによる森林施業の低コスト化の取組についても重要であることから、現地検討等を通じての技術情報共有を図って行くこととしています。



【これまでの成果と今後の取組】

- ・HPへの木質バイオマス発生情報掲載により、一定の成果が上がっているところであるが、更に掲載・販売件数増加に向けた取組が必要。
- ・木質バイオマス資源向けを想定した立木販売団地（間伐）については、平成28年度から販売予定。
- ・各署等の重点取組事項については、引き続き関係機関との連携を図りながら実施予定。